

第57回 全日本特別支援教育研究連盟全国大会 名古屋大会

(第一次案内)

「志をもち、自分の人生を切り拓いていく子どもたち」

～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～

平成30年10月25日(木)、26日(金)

第57回全日本特別支援教育研究連盟全国大会名古屋大会を、次の要項にて開催いたします。
本大会は「志をもち、自分の人生を切り拓いていく子どもたち」～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～を大会主題とし、全国各地の皆様と研究協議を深めたいと思っております。
さて、名古屋は日本のほぼ真ん中に位置し、どこから来ていただいても便利で、親しみやすい街です。織田・豊臣・徳川と数多くの名将が活躍した、歴史ある街でもあります。名古屋駅前にある大きなゲートタワーが、全国各地の皆様をお迎えします。
ご参集いただいた皆様と共に、本大会が特別支援教育の充実・発展に向けた研鑽を深める場となり、「志をもち、自分の人生を切り拓いていく子どもたち」を育てる契機となる研究協議ができますことを心より願い、ここにご案内申し上げます。

平成30年2月吉日

全日本特別支援教育研究連盟 理事長 松矢勝弘
第57回全日本特別支援教育研究連盟全国大会名古屋大会 実行委員長 櫻井孝司

主 催

全日本特別支援教育研究連盟 東海北陸地区特別支援教育連盟
名古屋市特別支援教育研究協議会

後 援 (予定)

文部科学省 厚生労働省 全国都道府県教育委員会連合会 全国国公立幼稚園園長会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国高等学校校長協会 全国特別支援学校校長会

名古屋市教育委員会 愛知県教育委員会

大会開催要項

1 大会主題 「志をもち、自分の人生を切り拓いていく子どもたち」
～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～

2 趣 旨

平成28年4月、障害者差別解消法が施行され、合理的配慮の実施、交流及び共同学習の推進等、共生社会の実現に向けて確実かつ着実に社会は動いている。

これらの状況の中、今回の学習指導要領改訂では、「何を学ぶか」という指導内容の見直しにとどまらず「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」までを見据えて、改善・充実する方向になっている。まさに、本大会で主題とした「志をもち、自分の人生を切り拓いていく子どもたち」を育てるために、教師側にその指導方法の改善を求められていると言える。

本大会では、主題を「志をもち、自分の人生を切り拓いていく子どもたち」とし、障害のある子どもたちが日々の主体的・対話的で深い学びから生きる力を身に付けることができるようにするための指導方法や、障害のある子どもたちを取り巻く社会の動きにも注目してその仕組みづくりを協議していきたい。本大会を通して、障害のあるなしに関わらず誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である共生社会の実現に向けた特別支援教育の更なる充実に期するものである。

3 大会期日 平成30年10月25日（木）、26日（金）

4 会 場

第1日目 全体会 日本特殊陶業市民会館
理事・評議員研究協議会 〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山一丁目5-1
TEL:052-331-2141 FAX:052-322-7217

第2日目 学校見学 名古屋市内小学校、中学校、特別支援学校、幼稚園
分科会 愛知県産業労働センター（ウィンクあいち）
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
TEL:052-571-6131 FAX:052-571-6132

5 参加者 全日本特別支援教育研究連盟構成団体会員
幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校・大学の教職員、保育所職員
特別支援教育研究者、保護者・関係団体の方、特別支援教育に関心のある方

6 日 程

	9	10	11	12	13	14	15	16
第1日 10/25 (木)		受付	開 会 式 表 彰 式	昼 食	研 究 報 告	行 政 説 明 基 調 報 告	記 念 講 演	閉 会 式 理 事 ・ 評 議 員 研 究 協 議 会
第2日 10/26 (金)	受付	学 校 見 学	移 動	給 食	受付		分 科 会	

7 記念講演 演題：「新学習指導要領を踏まえた今後の特別支援教育の在り方」（仮）
講師：山形大学教職大学院 特別支援教育分野 教授 三浦光哉 氏

8 研究報告 全特連研究奨励賞受賞者 未定

9 分科会（分科会名・テーマ・討議の柱）

No	分科会名	テーマ	討議の柱	提案者
1	早期相談と幼保小の連携	小1プロブレムの予防	○小1プロブレムの予防のための取り組み ○早期からの就学相談の在り方	東北 名古屋市
2	通常の学級での取り組み（小中学校）	特別支援教育の視点を生かした授業と学級経営	○通常の学級における合理的配慮 ○すべての児童生徒にとって分かりやすい授業の工夫	岐阜県 名古屋市
3	自閉症スペクトラムの児童生徒への支援	障害の特性に応じた指導	○自閉症等の特性を生かした教材・教具の工夫 ○自閉症等のある児童生徒に必要な環境整備	三重県 名古屋市
4	通級による指導	一人一人に応じた効果的な指導	○障害の克服・改善、集団生活への適応を目指した指導・支援の在り方 ○在籍校・関係機関等との連携	関東甲信越 名古屋市
5	聴覚障害児への支援	専門性を生かした指導と学校生活全般での指導	○専門性を生かした指導の在り方 ○学校生活全般における難聴児への支援の在り方	福井県 名古屋市
6	教科別の指導（小中学校）	主体的に学ぶための工夫	○各教科の特性を生かした指導の在り方 ○学習効果の高い教材・教具の工夫	静岡県 名古屋市
7	各教科等を合わせた指導（生活単元学習、日常生活の指導）	教科の内容を踏まえた評価	○自分らしさを発揮し生き生きと学ぶ生活単元学習 ○基本的な生活習慣の確立に向けた指導の在り方	富山県 名古屋市
8	各教科等を合わせた指導（作業学習）	自立を目指す作業学習	○達成感を感じられる支援の工夫 ○卒業後の職業生活につながる支援の在り方	愛知県 名古屋市
9	交流及び共同学習	共生社会の形成につながる実践	○豊かな心を育む交流及び共同学習の在り方 ○活動計画の立案と展開の工夫	石川県 名古屋市
10	健康・安全教育	命を大切にする力を育む指導の在り方	○健やかな心と身体を育む指導の工夫 ○障害特性に応じた防災・安全教育	東北 名古屋市
11	個別の教育支援計画	保護者、関係機関とのよりよい連携	○合理的配慮を明記した支援計画の策定 ○合意形成のための連携の在り方	近畿 名古屋市
12	職業教育・就労支援	他機関と連携した就労支援	○福祉、労働及び企業との連携 ○将来を見据えた職業教育・就労支援の在り方	中国四国 名古屋市
13	キャリア教育	自立と社会参加を目指すキャリア教育	○卒業後を見据えた一貫した指導の在り方 ○家庭や関係機関と連携したキャリア教育の在り方	中国四国 名古屋市
14	自立活動	一人一人の課題に応じた自立活動の充実	○きめ細かな実態把握と指導計画 ○子どもの主体性を大切にした支援の在り方	北海道 名古屋市
15	学校経営と地域支援体制	地域の中心となり子どもを支える学校経営	○教職員の資質・能力向上、合理的配慮への対応 ○地域の資源を生かした支援体制	近畿 名古屋市
16	高等学校における特別支援教育	特別支援教育の視点を生かした取り組み	○障害に配慮した環境整備 ○高等学校段階で自己理解を進める取り組み	九州 名古屋市
17	障害者スポーツ	スポーツを通して子どもが生き生きと輝く実践	○障害者スポーツを支えるもの ○充実感、達成感のある障害者スポーツ	関東甲信越 名古屋市

10 諸費用

大会参加費 4,500円（通信費含む）

大会集録誌代 2,000円（送料含む）

11 ホームページ

第一次案内を全日本特別支援教育研究連盟のホームページにも掲載しています。

どうぞご覧ください。

<http://homepage3.nifty.com/zentokuren/>

12 その他

大会参加費の申込方法は、第二次案内にてお知らせいたします。



大会事務局

〒456-0032

名古屋市南区三本松町23-26

名古屋市立南養護学校内

TEL: 052-871-7390

FAX: 052-871-7392

E-mail: minami-sh@nagoya.ed.jp

実行委員長
事務局長

名古屋市立天白養護学校
名古屋市立南養護学校

校長
校長

櫻井 孝司
近藤 成実